

滋賀の流域治水

目標

- ① どのような洪水にあっても、人命が失われることを避ける(最優先)
- ② 床上浸水などの生活再建が困難となる被害を避ける

手段

川の中の対策(堤外地対策)だけではなく、「ためる」「とどめる」「そなえる」対策(堤内地での対策)を総合的に実施する。

河道内で洪水を安全に流下させる対策
(これまでの対策)

ながす

河道掘削、堤防整備、
治水ダム建設など



流域貯留対策
(河川への流入量を減らす)

ためる

調整池、グラウンド、森林、水田
ため池など

氾濫原減災対策
(氾濫流を制御・誘導する)

とどめる

輪中堤、二線堤、霞堤、水害防備林、
土地利用規制、建築物の耐水化など

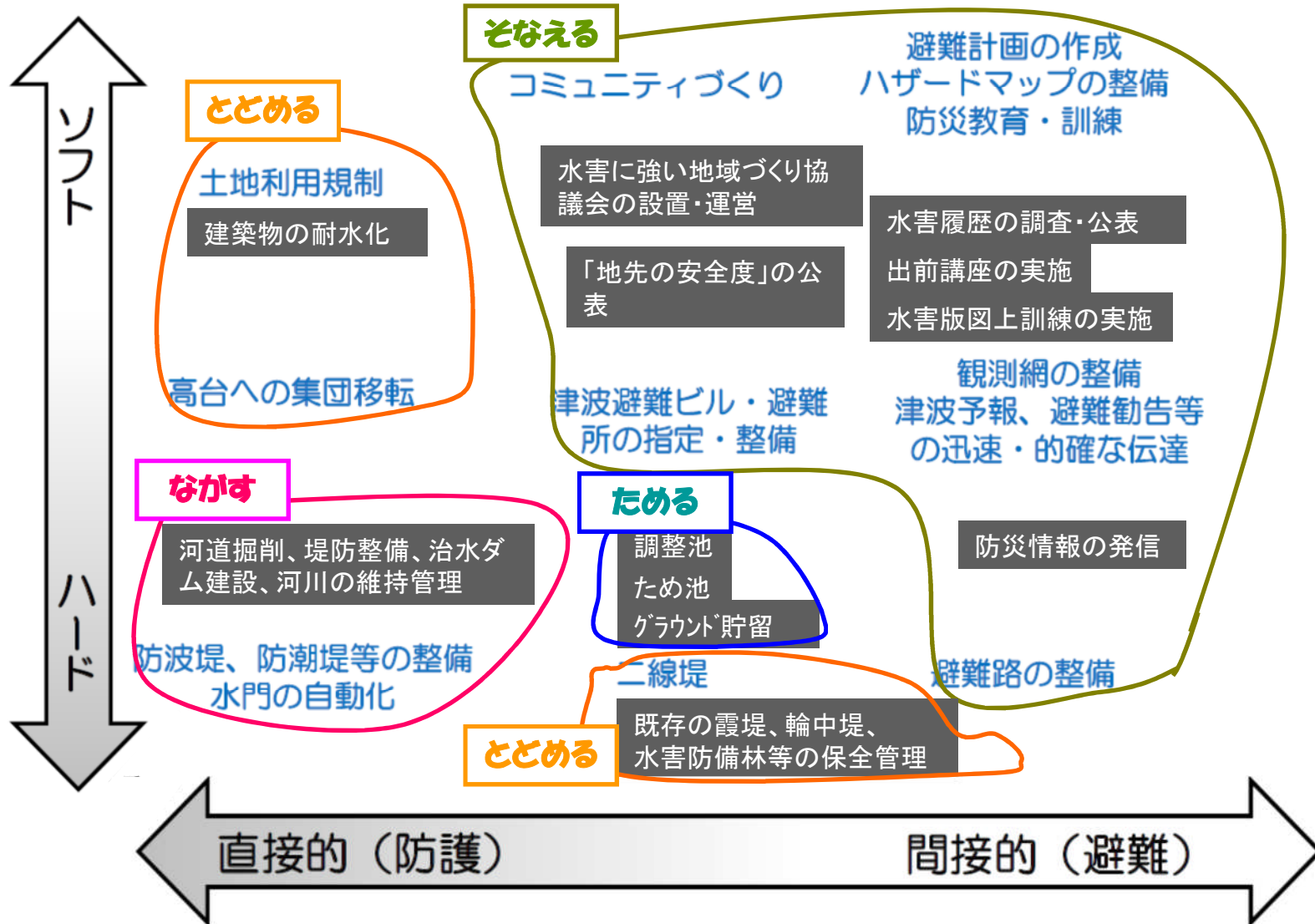
地域防災力向上対策

そなえる

水害履歴の調査・公表、防災教育
防災訓練、防災情報の発信など

東日本大震災復興構想会議

ソフト・ハードの施策を総動員



※滋賀の流域治水」施策を白抜き文字で追記、施策の分類枠も追記

滋賀の流域治水政策 ~河川管理と氾濫原管理~

洪水を川の中に閉じこめる
政策(川の中の対策)



はん濫しても人命を守り、甚大な被害を
減らす政策(川の外での対策)

選択と集中投資

超過洪水対応

樹木伐採など適切な維持管理

破堤を極力回避する工夫

計画的な河川整備

堤防強化

家の敷地を高くしたり、周りを囲んだり、すまい方の工夫

地区別避難計画の策定など地域防災力の向上

地先の安全度

土地利用規制

河川改修(1級河川)

水害防備林

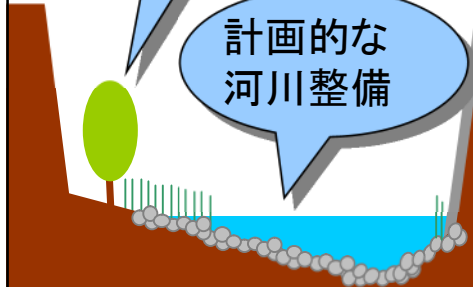
霞堤
二線堤

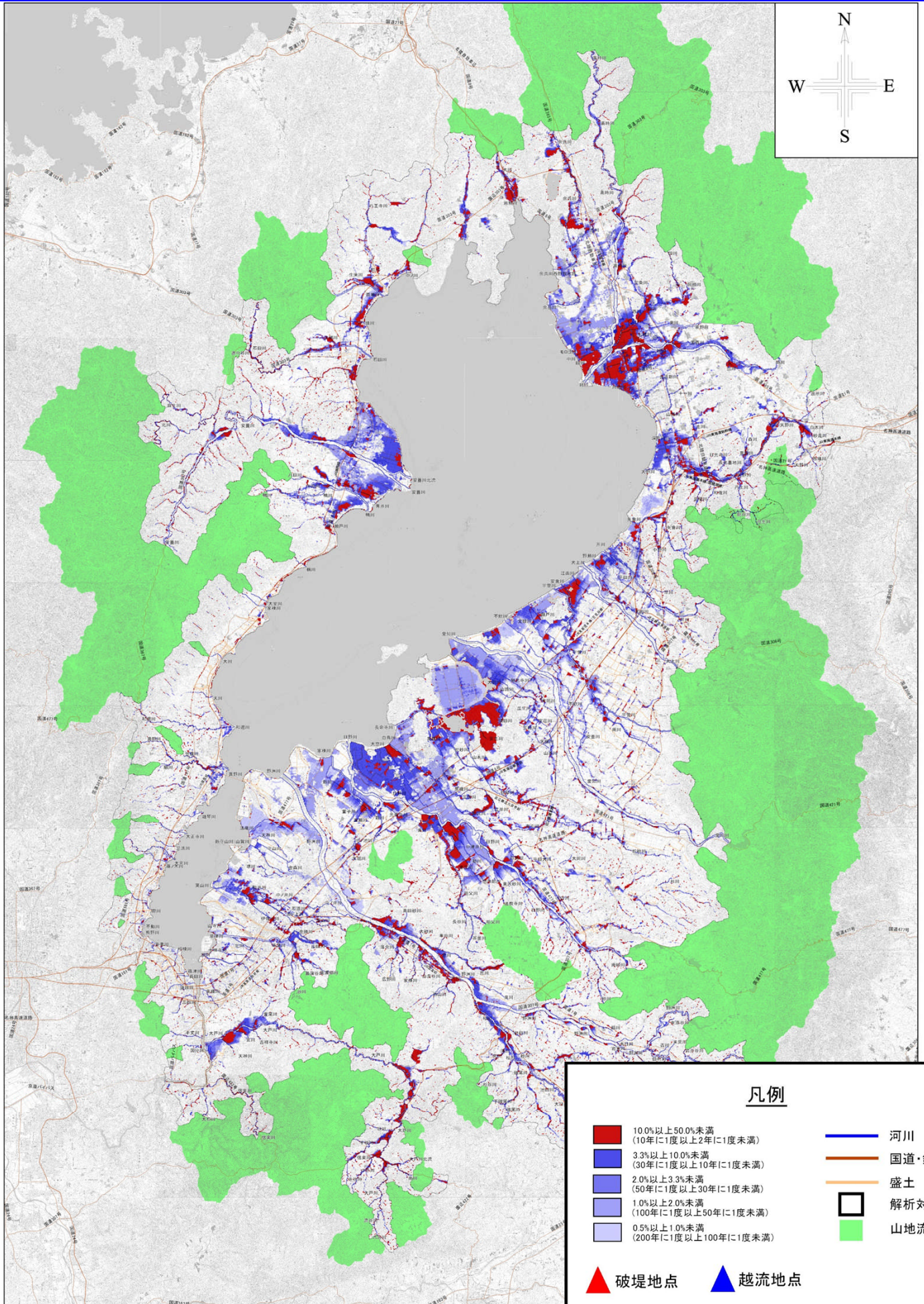
輪中堤
嵩上げ

川からあふれ出す流れを弱める工夫

水がたまりやすい場所に、危険を知らないままで人が住まないようにする工夫

道路を少し高くするなど、あふれた水が住宅地に流れ込まないようにする工夫





床上浸水（浸水深50cm以上）の年発生確率図

0 1000 2000 4000 6000

上図については、現在、精査・確認作業中であり、公表までに修正されることがあります。